



プレスリリース

2024年1月3日

マレリ CES 2024: Software-Defined インテリア

Software-Defined インテリア体験は、Marelli のゾーン・アーキテクチャ上に構築され、固定されたアナログ・インターフェースは、コンテンツが時と共に変化するディスプレイによって置き換えられます。

世界的な自動車モビリティ技術サプライヤーであるマレリは、CES 2024 で **Software-Defined インテリア** を紹介します。マレリの集中型アーキテクチャー上に構築される体験は、弊社のデジタル・コックピットの進化形です。最新世代の Snapdragon® コックピット・プラットフォームを搭載したセントラル・コンピューティング・ユニットは、最大4つのゾーン・コントロール・ユニット（ZCU）をサポートします。インテリアには、アナログ・インターフェースの代わりにデジタル・ディスプレイが組み込まれ、人工知能（AI）を活用して車両オーナーがパーソナライズできるコンテンツが用意されています。これは、2024年1月9～11日に米国ラスベガスのウィン・ホテル、ラトゥール・ボールルーム 5～6 において、「**Design-Led Innovation（デザイン主導の革新）**」をテーマに最新技術を披露する会場で展示されます。

マレリの **Software-Defined インテリア** は、次世代 HorizonView、前世代と比較して改善された輝度とコントラストを誇るマレリのピラトゥピラーディスプレイ、キャビンにシームレスに溶け込む 12 インチの収納型ディスプレイなど、複数の次世代ディスプレイ技術をサポートしています。

マレリの **Software-Defined インテリア** では、有機発光ダイオード（OLED）ディスプレイの最初の自動車アプリケーションが紹介されます。このディスプレイは、ディスプレイ技術の世界的リーダーである BOE と、その子会社である BOE Varitronix Limited の支援を受けてマレリが開発した可動式ディスプレイです。

ホログラフィック・ディスプレイは、マレリのバーチャル・アシスタントをホストし車載のコ・パイロットとして機能する先進的なヒューマン・マシン・インターフェースで、ユニークな運転体験を生み出し、クルマと乗員のインタラクションを一変させるものです。



マレリのペルソナ・ソリューションは、オーダーメイドのインテリア体験を提供します。ドライバーはペルソナプロフィールを簡単に作成し、シートポジション、温度、環境照明、音楽の好み、地面の照度など、クルマの設定を定義することができます。ペルソナプロフィールはクラウドに保存され、異なる車両間でシームレスに移行するため、車両に関係なく一貫したパーソナライズされた体験を保証します。

マレリの **Software-Defined インテリア**は、AI を活用したマレリの CAMEX (Context-aware Mobility Experience; 状況勘案型モビリティ体験) ソリューションも特徴としており、車内および周囲の環境全体を分析することで、今までにない車両とのインタラクションを実現します。CAMEX は、奥行きを認識するドライバー・モニタリング・システム (DMS) と乗員モニタリング・システム (OMS) を含む、世界をリードする Eyeris の車内単眼 3D センシング AI を活用し、3次元空間でユーザーの顔、体、手を分析することで、複雑な行動を理解し、微妙な気分を識別し、それに応じて車両の設定や機能を適応させるとともに、バーチャル・アシスタントとのインタラクションを促します。車両の外部環境も能動的に取り込んで運転体験を調整するので、暑い夏の日にはドライバーの好みに合わせてエアコンを調節して涼しくしたり、お気に入りのレストランにピットインするための回り道を提案したりするなど、さまざまな可能性が広がります。

マレリのアンビエント照明ソリューションは、ユーザーの好みに合わせて色、照度レベル、照明エリアを柔軟に複数組み合わせできるほか、装飾性に富んだスマートな表面と組み合わせることもできます。特にマレリの CAMEX と組み合わせることで、これは乗員と車両のインタラクションのための強力な機能となります。

インテリアには、マレリの集中型アーキテクチャを採用した **Software-Defined オーディオ・プラットフォーム**がシームレスに統合されています。この革新的なアプローチは、オーディオアンプをゾーン・コントロール・ユニット (ZCU) から切り離し、より柔軟で効率的なオーディオシステムを実現します。最大 16 個のスピーカーを駆動できるこのシステムは、卓越した音質を実現し、幅広いオーディオ・カスタマイズ・オプションをサポートします。ユーザーは、業界をリードする音響機器会社が開発したさまざまなオーディオ「フレーバー」を選択して、リスニング体験をパーソナライズすることができます。

マレリの新しい **サウンド・ゾーニング**により、ドライバーは車内を自分専用の会議室に変えることもできます。最適化されたバックグラウンド・ノイズ・キャンセレーション・システムが、再生中の音楽を含むあらゆるバックグラウンド・ノイズからスピーカーの音声を効果的に分離するため、会議に参加していない同乗者がいても、クリアで中断のないスピーカー通話が可能です。



ユーザージャーニーのカスタマイズは、Sibros の Deep Logger サービスとビッグデータ分析によって、クラウド上で継続されます。車両の技術データが抽出・分析され、メンテナンス予測、問題の早期発見、遠隔トラブルシューティングなどのサービスが可能になります。また、Sibros の Deep Updater は、自動的かつ車両全体の Over-the-Air アップデートを提供するため、車両ソフトウェアは常に最新です。

注：当文書は 2024 年 1 月 3 日に発表された英語版プレスリリースの翻訳です。プレスリリースの正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語版が優先されます。

マレリについて

マレリは、世界的な自動車モビリティ技術サプライヤーです。イノベーションとモノづくりに確かな実績を持つ当社の使命は、お客さまやパートナーと協力して、より安全で、より環境に優しく、よりコネクティビティの高い世界を造ることを通じて、モビリティの未来を変えることです。全世界に約 50,000 人の従業員を擁するマレリは、アジア、米州、欧州、アフリカに約 170 の施設や研究開発センターを有しています。